公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第十二回　理事会　議事録

開 催 日：令和元年１２月２３日（月）

開会時間：１９時００分

閉会時間：２１時００分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　板元　幸仁　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　鈴吉　美絵　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　田上　俊介　君
6. ２０１９年度スローガン　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

年末のお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。監事と直前理事長が遅れておりますが全員揃っての理事会を開催できますことを嬉しく思います。昨年の８月総会にて承認頂き１月１日から方針を元にスタートしましたが、思い通りいきましたでしょうか？思い通りいったことを引き継ぎして思い通りいかなかったところは、やった人にしかわからないことをしっかりと次年度につなげてもらえましたらと思います。３委員長に関しまして、２人は委員長を経験者した上で今年度どうだったのか。盛田委員長に関しては、わからないことが多々ある中で、どの様にしていれば良かったという部分も含めて引き継ぎをお願いします。また副理事長の皆様、鈴吉副理事長は自分と同じ年でしたが、重野委員長をよく引っ張って頂けたと思います。木野田委員長は初めての副理事長という役職でありましたが、板元委員長とともに１９名拡大という成果をあげられました。この経験をまた次年度へ引き継いでもらえましたらと思います。田上副理事長には筆頭格でいて欲しいと伝えていた中で、思うようにいかなかったことが一番多く良い経験となったのではないでしょうか？次年度、是非頑張って頂ければと思います。常盤監事、本来も厳しい方ですが組織を思って理事会では苦言を言わせてしまいました。我々も勉強させて頂きました。ありがとうございました。竹下顧問、忙しい中でなかなか理事会に参加できないことが多かったですが、顧問の指導・お力添えがあって今年度の所信ができて事業を実施に至りました。ありがとうございました。そして、運営方の３名に関しては大変お世話になりました。今年度多くのことにチャレンジしてきました。事務局移転など次年度にしっかりと引き継ぎをしてもらえましたらと思います。理事長挨拶ですべきことではないのかもですが、皆様に伝えたかったことであります。次年度、私も直前理事長として残してもらいますが、一歩引いた所より助言できればと思っております。要を得ない話となりましたが、本日は会場の関係で決められた時間で進めて参りますが、気になった部分は意見頂ければと思います。本日もどうぞ宜しくお願い致します。

1. 直前理事長挨拶

遅刻のため到着次第

1. 顧問挨拶

顧問　竹下　圭一郎君

　まずは、１２月理事会が全員出席の上で開催できますことをお喜び申し上げます。青年会議所は報告書がとても重要です。一年間、理事長の所信から事業を構築し、地域にどんなインパクトを与えたのか、どの様に変わったのか、また何が足りなかったのかをしっかりと報告書にて次年度に引き継ぎをして、より良い事業ができる様にしてもらえればと思います。気付いている人もいるかもですが、私は「皆さん、こんばんは。」を言いません。それは、その言葉が全員わかっていることであり不要であるからです。理事会でもそうですが、話やスピーチは相手が聞きやすい様にスムーズな話し方を心がけることをもっと意識してください。話の途中で「えー」という言葉を挟むことは話を考えていないためです。しっかりと話の組み立てを考えて相手が聞きやすい様にしてもらえましたらと思います。最後に会員会議所でも話をしたのですが、予想と予測の違いについては話をして終わりたいと思います。予想は、こうなるだろうとただの思い込みの考えです。予測とは、過去を調査した上で根拠を持ってこうなるという考えです。行動する上で、エビデンスがなければ地域にインパクトは与えることはできない。しっかりと根拠を持って予想ではなく予測として事業構築してください。理事長からもありましたが、運営方の皆さまは一年間お疲れ様でした。会を運営するにあたって運営方が目指す方向にしっかりと持っていけたでしょうか？それこそが、会を運営する上で重要であり２０１９年度が無事にゴールできることは運営方の支えがあって出来ることであります。終わりよければ全てよしという言葉もあります。本日の理事会が実りある会となりスムーズな進行ができますことを祈願いたしまして挨拶とかえさせて頂きます。

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：鈴吉副理事長、重野委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | △ | 竹下圭一郎 | ○ | 井上正樹 | 〇 | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | × |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で３名出席。

１３．議題並びに資料の確認

審議事項　９件　　協議事項　３件　　連絡・報告事項　４件となっております。

１４．議事録承認の件

田上　　：数点指摘させて頂き適正に修正されていることを報告させて頂きます。

盛田　　：確認のうえ適正に処理されていることを報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：正会員承認（遠山　雅也君）の件

木野田　： 前回の正副での指摘は青字にて対応しております。

板元　　： 正会員の承認議案になります。遠山・花牟禮・川平・池澤の４名になります。４名ともスケジュールのノルマは達成しており入会の意思確認をできております。

南郷　　：入金の確認できております。また、会費・互助会の請求書に関しましても適正に作成されております。

常盤　　：請求書に関してですが、入会金と後期会費の請求をとありますが、今回は入会金のみですので後期会費の文言は不要ではないでしょうか？

板元　　：監事の言われる通り今回入会金のみとなりますので削除させて頂きます。

藏元　　：他になきようでしたら、請求書の文言については運営方の方でしっかりと確認をして発送とすることを条件に審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認（花牟禮　彰君）の件

審議

全会一致で審議可決

審議事項３：正会員承認（川平　竜平君）の件

審議

全会一致で審議可決

審議事項４：正会員承認（池澤　茉衣君）の件

審議

全会一致で審議可決

審議事項５：仮会員承認（徳永　直人君）の件

木野田　： 仮会員承認の案件です、本年度１９人目となります。

板元　　： 先日、次年度の拡大担当とともに面接をしております。最近、開業され人脈を作りたいということで、とてもやる気のある方となります。入会申込書に関しては閲覧にて回しております。確認お願い致します。

南郷　　：特に問題ありません。補足ですが、活動への参加は来月からとなりますので、請求書に関しても２０２０年１月で作成しております。

藏元　　：意見がないようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項６：２０１９年度１０月例会報告書並びに決算書の件

木野田　：正副意見を青字、臨時正副でのご意見を青字に黄色マーカーにて対応しております。

板元　　：１０月例会の報告になります。ご意見等ありましたらお願い致します。

南郷　　： 決算書を確認しましたが、予算が０円、その他問題ないことを報告致します。

藏元　　：特に意見がないようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項７：啓発事業　共感の輪を広げる仲間づくり事業報告書並びに決算書の件

木野田　：審議にて上程しております。

板元　　：正副意見を青字、臨時正副でのご意見を青字に黄色マーカーにて対応しております。お目通し頂きご意見頂けましたらと思います。

鈴吉　　：前回の臨時でも意見があったのですが、田代水産ではなくベクトルです。

板元　　：計画書の内容で記載しております。計画時の間違いに関しては引き継ぎに記載しております。

竹下　　：この事業は、来年もするのですか？

板元　　：戦略議案として来年度も実施したいと考えております。

竹下　　：実際の効果は把握していますか？

板元　　：今回SNS媒体を使用して実施しましたが、フォロワー数や投稿記事への反応など一定の効果が得られていると思います。

竹下　　：主観だと思います。来年以降も実施するのであれば、広報の概念を変えて自分たちの考えや価値観を発信するメディアになって欲しいと思います。報告を発信・流すだけでなくマスメディアとして役割やコンテンツを作って欲しいと思います。

板元　　：次年度の戦略の中に盛り込んでいきたいと思います。

藏元　　：他に意見がないようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項８：２０１９年度１１月例会報告書並びに決算書の件

前田（大）：１回目となりますが、正副・臨時正副と意見を頂き対応しております。

橋　　　　： 出席者リストの修正と文章の精査をしております。内容はセレモニーのみとなっております。

藏元　　　：審議事項となりましたので財政の方より報告お願いします。

南郷　　　：決算書並びに領収書など私の方で作成・確認としております。

常盤　　　： 財政コメントに関してですが、自分で作って自分で確認では意味がないと思いますので、専務の方で確認等をする方が望ましいと思います。

藏元　　：今の意見に関しましては、しっかりと次年度へ引き継ぎたいと思います。その件の引き継ぎを条件として審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項９：２０１９年度会員オリエンテーション報告書並びに決算書の件

木野田　：今年度、２回に分けて実施しております。詳細は委員長より説明します。

板元　　：正副並びに臨時での対応をそれぞれしております。２回参加した会員への聞き取りと報告書への反映をしております。

南郷　　：領収の原本、現金・口座出納帳の修正を確認出来ており特に問題ないことを報告させて頂きます。

重野　　：質問です。２回実施することとなりましたが、来年度以降も複数回にわたり新入会委員を招くのでしょうか？

板元　　：引き継ぎに回数の検討とありますが、今年度新入会員が多いからという訳ではなく入った会員に早めに実施することができれば良いと思い引き継ぎをさせてもらっております。

盛田　　：特別講師に関して映像として流すのであれば音声が聞き取りにくかったので引き継ぎをしてもらえればと思います。

板元　　：問題点にも記載しておりますが、音声がしっかりと聞きとれるような形で実施できるように引き継いで参ります。

藏元　　：他に意見がないようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

協議事項１：２０１９年度　誰もが夢を描けるまちづくり事業補正予算（案）について

田上　　： 前回理事会より正副・臨時正副と修正させて頂いております。

盛田　　：２回目の補正予算となります。前回の正副並びに臨時正副の意見に関しては対応しております。

南郷　　：指摘させて頂いた点に関しては修正されていることを報告いたします。

田上　　：審議繰り上げ動議

セコンド　板元　重野

全会一致で審議繰り上げとなる。

藏元　　：先ほど、財政の意見も頂きました他にご意見なければ審議を諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

協議事項２：２０１９年度　誰もが夢を描けるまちづくり事業報告書並びに決算書について

田上　　：補正予算に続いて報告書を上程させて頂きます。

盛田　　：前回の臨時正副後に全体的な修正と精査を行なっております。また補正予算に至った経緯等も追加で記載しております。

前田（大）：昨日の日曜日に配信させて頂いておりますが、お気付きの点がありましたらご意見お願い致します。

盛田　　：補足ですが、前回正副にて意見ありましたお礼状については、本日までに全て対応しております。

竹下　　：今回の事業を経て何が変わったのでしょうか？

盛田　　：今回の事業での収穫は、この地域にも熱い思いを持った若い世代がいることが確認できました。

竹下　　：それは個人です。地域に対してどの様な影響を与えましたか？

盛田　　：費用に対して効果が少なかったと思います。

竹下　　：計画段階からでしたが、そもそも何の為にするのか、どうしてこの事業をするのかが見えていなかったと思います。報告書を見ても自己反省と結果しか記載されていない。この事業が地域のニーズを捉えていたのか疑問に思います。この地域に何を残したのか。地域にどんなインパクトを与えて、どの様な効果があったのかを客観的に事業を見て分析して欲しいと思います。他の委員長もですが、報告書はやったことの報告ではなく分析した結果を報告書として上程する様にしてください。

盛田　　：今回、私の至らない部分があり、ご迷惑をかけましたが来年度以降の霧島青年会議所に活かしていける様に努めたいと思います。

井上　　：顧問より総括的な話もありましたので、特にないのですが学校にはお礼状を持って回られたとのことですが、反応はどうだったでしょうか？

盛田　　：本来であれば次年度の委員会とともに行くべきであったのですが、スケジュールの都合上、本年度の方で回らせて頂きました。その際に来年もお力添え頂きたいむねを伝えております。

井上　　：年内にお礼ができていて良かったと思います。学生を巻き込むという形も委員長が良いと思うのであれば、その辺りも引き継いで頂ければと思います。

藏元　　：やったものに関して、伝えられることはあると思います。自分の言葉で良いので、また次年度へ引き継いでもらえればと思います。また、今年度が終わって２０１９年度の委員長の役は終わりますが、恩送りではないですが、今後もしっかりと会員をフォロー頂ければと思います。

田上　　：審議繰り上げ動議

セコンド　橋　重野

全会一致で審議繰り上げとなる。

藏元　　：審議案件ですので、財政コメントをお願い致します。

南郷　　：決算書並びに出納帳関係を盛田委員長・八ケ代委員と確認しており特に問題ないことを報告致します。

藏元　　：他にご意見なければ審議を諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

出席確認

直前理事長　前田数馬君

役員５名中４名出席

直前理事長挨拶

前田数馬君

前田　　：最終最後の理事会に遅参しまして申し訳ありません。私も先日の素晴らしい卒会式にて送り出して頂きました。居残り直前理事長として何かお手伝いさせてもらえればと思い一年間参加させて頂きました。今しがた、まちづくり事業の報告書も無事審議可決されました。盛田委員長は、初めてで苦労したことかと思います。この一年間で多くの叱咤激励があったと思いますが、盛田委員長の成長になったのではないかなと思っております。胸を張って霧島 JCの委員長をやったと思ってもらって意味のあるJCライフにしてもらえればと思います。また、藏元理事長を筆頭にやりきった理事役員の皆様も２０１９年度で培った力を地域で発揮して霧島・姶良・湧水の若手のリーダーとなってこの地域を変えていってもらえましたらと思います。最後に良い挨拶もできませんが、２０１９年度のメンバーの益々活躍を祈願致しまして挨拶と代えさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

協議事項３：２０１９年度　１２月通常総会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：先週総会を実施し、報告の作成となっております。臨時正副にて目を通しておりますが、今一度確認のうえご意見頂けましたらと思います。

重野　　：副理事長より説明のあった通りとなっております。出席率に関しまして悔いの残る形となりますが、色々なことに挑戦させて頂き引き継ぎとしております。

板元　　：３回総会をされて、自分たちも年間通して出席率に苦しんだところでありますが、一番必要なことは何でしょうか？

重野　　：スケジュールの周知と委員会メンバーからの電話連絡と思っております。

板元　　：もう一点、今回のBBSでの効果を教えてください。

重野　　：うまくはかる事ができないのですが今年度、一度も出席できなかった方が参加いただく事ができました。

板元　　：報告書に記載出来なかった参加促進方法などは、また口頭でも引き継いでもらえればと思います。

竹下　 ：なぜ出席率をあげないといけないのかを教えてください。

重野　　：1人でも多くのメンバーが集うことで、団結できると考えます。役員選出の際に出席率を見たときに役を受けた会員とそうでない会員の差が大きいことに気づき、どうにかしないといけないと思った次第であります。

竹下　　：なぜ今年は出席率が上がらなかったと思いますか？

重野　　：ここ２、３年続いているのですが、何かの対策でパッと上がるものでなく風土を変える必要があると思います。

竹下　　：それでは、出席率は上がりません。過去５年の出席率を把握していますか？過去を知らないと予測に辿り着けないと思います。過去に何をやってきて何が基準としてあるのか考えてください。組織が変われば出席率はすぐに改善されると思います。

重野　　：貴重なご意見ありがとうございます。

鈴吉　　：審議繰り上げ動議

セコンド　田上　南郷

全会一致で審議繰り上げとなる。

藏元　　：審議案件ですので、財政コメントをお願い致します。

南郷　　：特に不備なきことを報告させて頂きます。

藏元　　：他にご意見なければ審議を諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

報告・連絡・討議事項　４件

監事講評

井上： 本日は、理事会に遅参してしまい申し訳ありませんでした。個人的に一年間を振り返り漢字１字で現すと「変」であったと思います。時代の年号が変わりシニアとの合同例会が開催され、会員数も大きく変化し勢いがつきましたが、霧島JCにとって影響力の強い人たちの卒会など変化があったと思います。県内のLOMでも会員も増えて出向者を輩出して今、勢いがあり鹿児島を引っ張って行く可能性があるのではないかと思っております。一年間監事という職を預かり培った知識や経験を活かして霧島JCのため、地域のために役立てていきたいと思います。本日も理事会お疲れ様でした。

常盤： まずは全員揃って、そして定刻に始まり定刻に終わり、それぞれがしっかりと準備できていたのかなと思います。終わりよければ全てよしでありますが、残り１週間の中で監査であったり掃除であったり残っています。次年度の委員長や仮会員も含めてしっかりと参加して引き継ぎをしてもらえればと思います。最初の挨拶で理事長より各々にお礼の言葉がありました。私からは理事長に対してですが、大きい体ですが気が優しく気配りをして頂けたと思います。今年度の率先垂範という言葉は１年で終わるのではなく継ぎ足す形で年々成長してもらえればと思います。監事としては、顧問より広報の概念について話もありました。メモをとっている人もいますが、しっかりと見直すことも行うようにしてもらえればと思います。私は来年も監事の役を預かることとなります。しっかりと役職を全うできればと思います。本日は、お疲れ様でした。

次回開催

令和２年　　１月　７日　　第１回臨時理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　　　　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　鈴吉　美絵　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　隆太　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞